

## 第 2 回 豊浦町地域創生総合戦略推進本部会議 議事概要

開催日：平成 27 年 6 月 1 日(月)

時 間：13:30~15:00

会 場：豊浦町役場 3F 議会委員会室

主な内容：

### 【今後のスケジュール等について】

- 地方版人口ビジョンおよび総合戦略は、国からは、今年度中に策定しなさいといわれているが、国の補正予算で、300 億円の留保があり、これは、今年度、早く計画ができたところを対象に配分するといわれている。これをうける条件として、計画が 10 月末に計画ができることとなっている。今年度中に豊浦町で予算を獲得して、事業を実行するということができれば、10 月末までに計画策定を行う必要がある。
- 議論の進捗に合わせ、皆さんに、原稿事業の洗い出しもしていただくことになる。
- 非常に時間は短い、豊浦町が将来的に活力のある地方自治体として、持続的に発展していくために、皆さんのご協力をいただき、実践に即した形で策定したい。また、その前に、議会審議およびパブリックコメントを実施する。
  - 10/2 に最終の第 6 回、10 月末までに計画策定ということになると、パブリックコメントもかけ、全て終わった段階でなければならない。策定会議委員の中に住民の公募委員が含まれている場合でも、パブリックコメントを重複してとる必要があるのか。
  - 各市町村の動きを見るとほとんどの場合実施している。重要な計画等についてパブリックコメントをするという各市町村の規定等に該当するという判断。豊浦町もそれに準じて実施する予定。国からもパブリックコメントを実施する途中のものは完成とみなされない。そのために 10 月 31 日までにパブリックコメントを終了する予定。国では必ずしも議会議決は必要ではないという言い方になっている。問題と考えられるのは、万が一、豊浦町議会の議決要件に変更された場合、10 月に議会議決を受けなければならない。受けられなければ、補助金を受けられなくなってしまう不安もある。
  - 計画策定して提出し、議会も得た後、国で内容的に問題があるというものではない。あくまでも、住民の声を尊重して約 1,000 万円程度の補助金が交付されるということである。
  - 国は急がせるために期限指定をしているのではない。前年度 3 月中に終わっている市町村が丸 1 年何もできないことを防ぐために期限指定をしている。あくまでも国は平成 27 年度中に作ればいいといっている。準備の出来ている所が動けなくなるのはおかし。早くできたところは早く動けるように留保分を振り分けますという話。これに乗れば 10 月までに策定しなければならない。
- 今回から、業務受託者のパシフィックコンサルタンツ株式会社北海道支社も同席する。

### 【検討の進め方及び豊浦町総合戦略策定会議の開催について】

- 本日 6/1 に、庁内会議および策定会議を同様の内容で行う。

- 6/15 の第 2 回策定会議で、町民の目線から有識者の方々に、豊浦町の「強み」「弱み」を出していただく。
- 6/29 の第 3 回策定会議で、町民アンケートの結果も踏まえつつ、「強み」「弱み」を整理し、目指すべき将来の方向性がどのようなものであるか、町民から議題提起してもらう。
- それを受け、7 月上旬に担当者会議により、第 3 回策定会議の内容を審議・検討していただく。
- 7/13 に第 4 回策定会議を行い、総合戦略における基本目標について議論していただき、それを受け、本部会議で 7 月下旬に審議していただく。これまでにおおそ方向性は狭まってくると考えられる。
- 8/24 に第 5 回策定会議において、「施策に関する基本的方向について」「事業効果を検証・評価・改善するための仕組みづくりの構築」を審議・検討してもらう。ここまでで、町民の声を聞くという段階を終える。
- 9 月は、庁内で議論していただき、内容を固めていく。9 月下旬に KPI について議論し、また、人口ビジョン・総合戦略の素案についてご議論いただく。
- 10/2 に策定会議のメンバーにご確認いただく。
- 事務局から、庁内会議の日程案を提示。第 2 回=7 月 7 日、第 3 回=7 月 28 日、第 4 回-1=9/4、第 4 回-2=9/8、第 5 回=9/25 を予定している。変更があれば追って連絡する。

#### 【豊浦町の人口動向及び将来推計等について】

- 改めて説明を受けると、豊浦町はそうだったのだなというものが見えてきた。
- 12 ページの豊浦町の産業。ここでは農林水産業が多く、複合サービス事業が特化されているような書き方だが、これはどのような産業なのか。
  - 農協・漁協・郵便局。
- 農林水産業に特化しているが、人口が減ると本当に減ってしまうので、減らさないようにやる。逆に低いところは増やすということなのではないか？
- 14 ページと比べてみれば第一次産業に特化しているが、一人あたりの販売力が少ない。製造しているが、他の町と比べ加工工業などの付加価値がほとんどない。そのため販売力が極端に少なくなっている。要するに儲けが少ない。販売額が少ないと自ずと所得に影響してくると思われる。
- 16 ページの婚姻率が豊浦町は低い。婚活事業も必要な可能性はある。ただ婚活などに限らず、仕事があれば婚姻率が上がる可能性もある。
- 10 ページの出生率。計画上 1.8 まで持っていくかどうか議論されるのか。これを 1.8 まで上げるとなれば、そのための施策をどうするか。
  - 今の事業を維持するというのと、新たな対策をしなければならない。
- 確かに市民生活においてサービスを受ける人というのは人口減少とともに減少していくと思うが、サービスを提供する人は増やすことはできるのか。
  - 現在、町外から通っている人もいる。施設の職員に限って言えば、職場も豊浦にあるので、住環境を整備し豊浦に住んでもらうということを考えることができるのではないかと思う。
  - 豊浦に来てもらうためには住環境を良くするという。特に病院などの介護員さんで

あれば給与面を考えてあげるということもある。

- この先も含め、このような人を確保して、地元の特養なども施設自体はあるので、定数分の人は町内の人で、足りなければ町外からも来てもらうことによって、生産人口ではないのかもしれないが、人を確保するという事はできる。
- また、施設が機能していれば、そこで働く人材も確保できるのではと資料を見て思う。
- 7ページ、20代30代の転入転出が多い。50代前半の転入転出も多いというのは会社が終わりになってということか。それであれば、定年後豊浦に来てくださいという政策も今後考えられるということか。
- 特に転入は50代～、転出は64歳位までが多いところを見ると、子どもが他の市町村にいらして、老後はそちらに住むということを考えているのかもしれない。いかに豊浦町に住み続けていただくか、逆に豊浦町に来ていただくことができるかということも一つの政策の方向性である。
- 国でも人口が減少し、2060年に1億人を維持するために人口ビジョンと戦略を作って進めていく。将来人口は、2060年という国の目標に合わせるのがベストなのか。
- 実際に2040年に設定している自治体もある。ただ国では原則2060年まで。長いスパンで計画した方がいいということ。2040年、現在、子供の方々がちょうど大人になる年。その時に生まれた子供が大人になるのが2060年位になると思います。2世代で考えるか3世代で考えるかということかと思われる。
- 孫の職場を考えてやらなければならないというような、先のことを見通した具体的な事業を考えなければならないということか。
- 2060年という遠い先のことになってしまう。2060年を念頭におき、今現在、豊浦のためにここまでしなければ、ここまで頑張ろうということからいくと、2030年がいいのかと思う。15年先というと現実的だからいいのではと思う。
- 戦略の計画については、あくまでも5年間の部分を整理する。

#### 【人口変化が地域の将来に与える影響について】

- 表にあるものに関しては各課で判定を行い、それ以外のものがあれば各課で検討して付け加えて影響度等も記入すればいい。あくまで全国を見通して、考えられる内容が書いてありますので追加があれば記入していただきたい。
- 人口減少下で、どれかに選択・集中していくことを考えると、影響度の大きなものを特にやっ払いこうとか、発生確率と影響度を組み合わせた上で重要と思われる項目の順位付けもしておいていただくと、後々、総合戦略をまとめる上でもいい指標になる。
- 地域経済として生産人口上げたい、雇用を作りたいという場合は高い数字を判定で入れる。それを全部集計して、豊浦町はこの段階でどこの政策に重点的に行くべきかを結論付け、その中で具体的なものを計画の中でくみ出していくということか。
- 例えば教育関係で、各地域には学校が必要だという意見と、少人数だと可哀そうだから1校でもやむを得ないので交通機関を整備して集めるべきだという意見のバラつきが生じたら、もんでいくということ。
- 評価の仕方等書き方については明日以降、みなさんにお伝えする。
- 各係で負の影響と影響度等を議論し、6月15日までに整理していただきたい。

### 【アンケートについて】

- 高校生と一般、子育て世代に対してアンケートを実施する。それにプラス、前回の定例協議会で小中学生の話を聞くことが本当でないかという話が出た。小学校高学年・中学生に対して簡単なアンケートを行い、学校を通じて回収したい。
  - アンケート調査票についてはパソコンにお願いしている。出来次第、学校にお願いし、回収期限の6月19日までに回収できればと考えている。
  - 高校生のアンケートで問13・14。選択肢数が多いと思うのですが、選択項目数に関して上位3項目、1項目、いくつでも等の制限を加える必要はないか。
  - 高校生のアンケートの前文は、もう少しわかりやすくしたほうが主旨が伝わる。
- 小学生の意見も聞くのか。答えられないのではないか。
  - 当然、小中学生なのでどのような仕事があれば豊浦に残りたいか等の簡単な設問になる。
  - そもそもが子供議会開催ということから始まっている。まだ子供議会を開催していない。子供議会でこのような内容を検討してはどうかということから始まった。しかし、実際に子供議会をどこで開催するのか、主催者は議会ではないのかということ議論があり、アンケートを検討しますということになった。アンケート対象に関して、小学校1年生に聞いてもどうしようもないので高学年の5・6年生にということになった。内容は簡単な形で行う。ある議員にしてみれば実績があればいいという話もある。
- 総合計画の関係もあるので、以前の総合計画のアンケートの設問も入っている。
  - 一般子育てアンケートの3～4ページには、前回の総合計画の内容を一部抜粋した形で作っている。前回の総合計画アンケートの中でインフラに関する設問もありましたが、今回の内容とはずれてくるので、その点については改めて行っていただきたい。今回は産業関係に関することについてピックアップしている。
- 回答者は、もうピックアップしてあるのか。ランダムにあたるのか。
  - 先週末ピックアップした。再度アンケート用紙を確認し、早い段階でお送りしたい。
  - 職員にもあたる。

### 【その他】

- この会議を公開するかしないか。ネット上で公開している自治体もあるようなので。見たいという方はここで見る。職員で傍聴したいという方がいれば席は十分あいているので、発言はできませんが傍聴できる。



会議の様子